

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		高齢者慶祝事業費〔敬老金支給事業〕													
予算科目		款	3	民生費		項	1	社会福祉費		目	3	老人福祉費		事業番号	5
事業の種別		☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし)													
		☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☒ 廃止したもの													
担当部署・課長名		地域包括ケア推進（高齢介護）課 高齢者支援						係	課長名		石嶋 洋平				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 高齢者保健福祉の推進										施策番号		2 - 2			
										総合計画書 (ページ)		51			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 9月15日現在で88歳の市民						① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 65歳以上の市民（毎年9月1日付の数値で計測）								
	→														
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕 敬老の意を表されることで、生活意欲の向上と生きがいの増進に繋がっている						② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 支給者数								
	→														
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。 9月15日現在で88歳の市民に対して、5,000円を支給した。例年民生委員が個別に訪問し、直接渡しているが、令和3年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年度に引き続き、現金書留による支給方法に変更した。						③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 9月15日現在で88歳の市民								
	→														
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標							
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標							
	対象指標	①の数値	人	22,963	23,163	23,382									
	成果指標	②の数値	人	342	423	440									
	目 標	②の目標値	人												
	目標値設定の考え方（課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。）														
3 経費	事業費（実績）		円	1,710,000	2,115,000	2,200,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)								
	財源	一般財源	円	1,710,000	2,115,000	2,200,000									
		特定財源	円												
	人件費（目安）	（うち受益者負担）		円											
		所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05									
		所要人数(再任用)	人												
		職員人件費(再任用以外)	円	415,500	419,000	412,500									
職員人件費(再任用)	円														
事業費+人件費		円	2,125,500	2,534,000	2,612,500										
4 課題	今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ※廃止したものを除く														
5 今後の方向性	仕事の方向性（「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ※廃止したものを除く														